

社会科標準問題

令和二年度

注意

1. 問題は1から5までであるが、そのうち4題を解答すること。どの4題を解答するかは、学校の指示に従うこと。
2. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に指示通り記入すること。
3. 所要時間は50分とする。
4. 解答用紙の選択した(または指定された)問題番号の□に○を記入すること。

大阪府高等学校社会(地歴・公民)科研究会

- 1 次の文章は、源流思想を学んだ生徒 A が書いた感想文である。この文章を読み、下の問いに答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

源流思想を一通り学んで、はたして現代の人間の人間性は、古代の人々の人間性と比べて向上しているのだろうか? と疑問をもった。

人間の精神には、真・善・美などの価値を求める働きがあり、古代からそのような価値が求められてきた。たとえば、理性にもとづく思考によって、(a)世界のあり方や(b)人間のあるべき姿についての(c)真実を捉えようとする営みは、哲学者をはじめとして昔から多くの人間が行ってきたといえる。しかしそのような営みの成果は、現代人、とりわけ現代の為政者たちに対して、何か重要な役割を果たしているのだろうか。

(d)人間を超えた聖なるものへの信仰によって、(e)苦悩や不安からの救いを求める宗教も、古代より存在し続けている。たしかに(f)宗教は、多くの人間を救ってきたけれど、一方で不幸や争いの種になることもある。歴史を振り返れば、開祖の教えから離れて差別的な解釈が施されたり、宗教を一因とする悲惨な争いが数多くおこされたりしてきた。

また、人間は個人として生きているが、同時に(g)社会において生きる存在でもあるから、社会における理想も求められてきた。社会における秩序を保つための(h)法や正義、(i)安心して暮らしていくための平等や平和は、社会的存在である人間が幸福に生きるうえで必要不可欠なものである。しかし現実をみれば、世界中で不正や争いが絶えることはなく、格差は広がる一方であるように思われる。

現代においては科学や技術については格段に進歩しているものの、こうしてみると、それと比例するように人間性も古代よりもはるかに向上した、とはいえないように思う。物質的には豊かになっていても、精神的にはそれほど変わっていないようだ。精神的に優れた、徳をそなえた人間になるためには、いつの時代に生まれようとも一人ひとりが謙虚に学び、努力を重ね、法を守り、不条理に負けず、真・善・美などの普遍的価値に向かって試行錯誤していくしかないのではないか。

そして、より良い社会を作っていくためには、(j)良いものは良い、悪いものは悪いと判断し、互いによく話し合っ理解を深め、平和や平等の実現へと一步一步近づいていくことが、きっと重要なのだろう。

- 問1 下線部(a)に関連して、生徒 A ~ C が世界の始まりや世界のあり方などについて話している。下線部の内容が適当なものの組み合わせとして正しいものを、下の①~⑦のうちから一つ選べ。

- A 聖書の始めに記されているように、ユダヤ教やキリスト教では、何もないところから神がこの世界を創造したとされているね。ユダヤ教では、宇宙万物を創造した唯一絶対の人格神ヤハウェ(ヤーウエ)から与えられた「十戒」を中心とする律法を守ることがとても大切だ。
- B ヘシオドスの詩『神統記』では、どのように世界や神々が生まれてきたのかが、神話的表現によってうたわれているよね。まずカオス(混沌)が生まれ、次にガイア(大地)とタルタロス(地底)が生まれ、やがてゼウスを主神とするオリンポスの神々が世界を支配したとされているけど、最初にカオスが生まれたという点で納得できるなあ。
- C 古代ギリシアの自然哲学者たちが、それまでの神話の世界観から離れて理性によって万物の根源、すなわちアルケーが何であるかを探ろうとしたのは、すごいことだと思う。

自然哲学者のうち、タレスは水、アナクシマン드로スは空気、ヘラクレイトスは火、デモクリトスは原子、プロティノスは一者を、それぞれアルケーだと考えていたよね。

- ① A ② B ③ C ④ A・B
 ⑤ B・C ⑥ C・A ⑦ A・B・C

問2 下線部(b)に関連して、ソクラテスは人間として「ただ生きるのではなくよく生きる」ことを目指した。そのようなソクラテスの考えをよく理解している発言として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① よく生きるためにはお金があったほうがよいので、まず勤勉に働いて節制に努めてお金を貯め、経済的な余裕をもってから、自然の法則や宇宙の秩序についての真理を求めることが大切だと思います。
 ② よく生きるためには、度を越すことなく身の程をわきまえて自分の能力に見合った生活をするべきであり、また、人間の理解の範囲を超える神の存在や永遠などのことについては語るべきではないのだと思います。
 ③ どのような賢い人であっても、善美のことがらについては知っているようで本当はわかっていないので、よく生きるためには傲慢になることなく、常に真理を知ろうと努めなくてはならないと思います。
 ④ 良好な人間関係を築くことはよく生きるうえで重要であり、強い権力や勢力をもつ者には従ったほうがよいのだから、彼らが不正を行っていたとしても思慮深く黙っているべきだと思います。

問3 下線部(c)に関連して、プラトンとその弟子であるアリストテレスは、ともに事物の本質を捉えようとしたが、アリストテレスはプラトンの考えを次のように批判している。

なかでも最も疑問なのは……【 X 】は、他の事物を認識するのにも何の役にも立たず（というのは【 X 】は、これらの事物の実体であったならば、その事物のうちに存在していたはずであるが、そうではない以上、【 X 】はこれらの事物の実体ではないからである）、また他の事物が存在することの確定にもなんら役に立たない。なぜならば、【 X 】は、それを分有している事物のうちに存在していないからである。
 (『形而上学』川田殖訳「世界の思想家2 アリストテレス」より)

この資料を見ながら、生徒AとBが資料中の空欄【 X 】に入る語句について考え、話している。次の会話文を読んで、**あ**～**え**に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- A：アリストテレスはプラトンの弟子なのに、師の考えを「役に立たない」と断言するとはなかなか辛らつだなあ。
 B：事物を認識するのに役に立つか立たないかを重視するのは、**あ**のアリストテレスらしいよ。
 A：さて、【 X 】には何が入るのかな。
 B：「その事物のうちに存在していたはずであるが、そうではない」とあるから、**い**だと思う。プラトンの説く**い**は、この現実の世界とは違う世界に存在するから。

A：たしかに、プラトンの説く**い**に対して、アリストテレスは事物の本質である**う**は個物に内在していると説いた、と学んだね。

A：アリストテレスは、物事が変化したり運動したりする原因を明らかにしたかったようだけど、プラトンによる**い**の考え方では、それが難しいと考えたんだね。

B：アリストテレスの**え**的自然観では、「愛されるものが動かすように動かす」存在、万物を運動・変化させる「不動の動者」が想定されていると授業で聞いたよ。それは、永遠的で不動で不変的である最善であるそうだ。プラトンが説く**い**の世界も、理想であり、永遠で不変だったよね。

A：あれ？ 「不動の動者」の性質は、アリストテレスが「役に立たない」と断罪したプラトンの説く**い**の世界の性質と、なんだか似ているね。

	あ	い	う	え
①	理想主義	エロース	形相	目的論
②	理想主義	イデア	質料	機械論
③	理想主義	エロース	形相	機械論
④	現実主義	エロース	質料	機械論
⑤	現実主義	イデア	形相	目的論
⑥	現実主義	イデア	質料	目的論

問4 下線部(d)に関連して、次のア～ウは、ユダヤ教、キリスト教、イスラームについての記述である。その正誤の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

ア ユダヤ教・キリスト教に共通する特徴として、いまの世の終わりが到来し、神による審判が行われるという思想があるが、そのような終末思想はイスラームにはない。

イ キリスト教では、イエスは神の子であり救世主だと信じられているが、ユダヤ教とイスラームではイエスについてそのような信仰はない。

ウ イスラームでは、ユダヤ教とキリスト教の「創世記」など旧約聖書の一部が聖典とされているが、ユダヤ教とキリスト教においては、『クルアーン』は聖典とみなされていない。

- ① ア 正 イ 正 ウ 誤 ② ア 正 イ 誤 ウ 正
 ③ ア 正 イ 誤 ウ 誤 ④ ア 誤 イ 正 ウ 正
 ⑤ ア 誤 イ 正 ウ 誤 ⑥ ア 誤 イ 誤 ウ 正

問5 下線部(e)に関連して、社会の底辺で悩み苦しむイスラエルの人々を救おうとしたイエスの行動についての聖書の記述内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① エジプトで奴隷生活を強いられ苦難の中にあつたイスラエルの人々を率いてエジプトを脱出し、約束の地カナンへと導いた。
 ② すべての労働が禁止されている安息日にも病人を癒したり、軽蔑されていた徴税人とともに食事をするなど、差別されていた人々の中に入って救いを説いた。
 ③ 律法を絶対視して、律法を守れない弱く貧しい人々を罪人として裁くユダヤ教のファリサイ派の人々を批判し、律法を完全に否定して新たにキリスト教を開いた。

- ④ 人間は神の意志にそむく罪深く弱い存在であるが、神がメシアを遣わし、メシアが人間の身代わりに十字架にかかって人々の罪を贖うことにより、人間は救われるのだと預言した。

問6 下線部(f)に関連して、次の絵画は、エル・グレコによる『聖三位一体』という絵画で、上部の鳩は「聖霊」を表している。『三位一体論』を著してキリスト教における父・子・聖霊の関係を説明した人物をあ・いから、その人物が行った内容をA・Bからそれぞれ選ぶとき、組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。



〈人物〉

- あ 最大の教父 アウグスティヌス
い スコラ哲学者 トマス・アクィナス

〈内容〉

- A アリストテレス哲学の研究を踏まえ、理性に対する信仰の優位を説いて両者を調和させた。
B 教会の権威を基礎づけ、パウロの説く信仰・希望・愛をギリシアの四元徳の上位に位置付けた。

- ① あ—A ② あ—B
③ い—A ④ い—B

問7 下線部(g)に関連して、次の文章はヘレニズム時代に公共の場から離れ「隠れて生きよ」をモットーとしたエピクロスについて説明したものである。文中の空欄（あ）～（う）に入る語句として最も適当なものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

アレクサンドロス大王が病没し、アテネで反マケドニア運動が起こったが失敗に終わり、マケドニアの軍政はいっそう厳しくなった。この推移はエピクロスに痛ましい記憶を与え、国事から身を引いて生きることとなった。彼は、人生の目的は幸福だと考え（あ）の立場をとった。そして、身体に苦痛がなく精神に動揺がない（い）を賢者の理想とした。また、魂を動揺させ（い）を妨げる迷信や死の恐怖に対しては、（う）の考え方をを用いることによってその恐怖に根拠のないことを示そうとした。

	あ	い	う
①	禁欲主義	アパテイア	世界市民主義
②	禁欲主義	アパテイア	原子論
③	禁欲主義	アタラクシア	世界市民主義
④	禁欲主義	アタラクシア	原子論
⑤	快楽主義	アパテイア	世界市民主義
⑥	快楽主義	アパテイア	原子論
⑦	快楽主義	アタラクシア	世界市民主義
⑧	快楽主義	アタラクシア	原子論

問8 下線部(h)に関連して、古代ギリシア思想における「正義」についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 「人間は万物の尺度である」と説くソフィストの考え方にもとづけば、正義とは、人間であるならば守らなくてはならない普遍的で絶対的なものである。
② ソクラテスによれば、何が正しいことかを知ることと実行することは同じものであり、正義の徳について知る者はそれを実行に移し、善い人間になることができる。
③ プラトンの考え方によれば、国家において知恵・勇気・節制の徳が発揮されて国家全体の秩序と調和が保たれるとき、正義の支配する理想国家が実現する。
④ アリストテレスによれば、正義は、法を守るという全体的正義と人々の間に公正をもたらす部分的正義に大別され、部分的正義はさらに配分的正義と調整的正义に分類される。

問9 下線部(i)に関連して、イスラームにおける平等についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ムハンマドは最後の預言者であるが、ほかのモーセやイエスなどの預言者と同じく平等に扱われるべきだとされている。
② ムスリムが行うべき宗教的務めである五行のうちの断食は、たとえ兵士であろうと病人であろうと、平等に行われなければならない。
③ 互いに平等な関係を結んでいる信仰共同体であるウンマにおいては、宗教と政治が一体となっており、強固な部族中心主義が守られている。
④ アッラーのもとでは万人が平等であるので、キリスト教における司祭のような聖職者はいない。

問 10 下線部(j)に関連して、次の表はストア派の考え方によって「存在するもの」を、善・悪・無差別のものに分類したものである。表中の(例)における空欄 **あ**～**う** に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

＜ストア派の「存在するもの」の分類＞

存在するもの	善	徳	(例) あ
		その他の善	合理的な衝動(エウパテイア) (例) よろこび、意欲、注意
			有徳な行為
	悪	悪徳	(例) い
		その他の悪	非理性的な衝動(情念) (例) う
			悪徳の行為
無差別のもの	優先されるもの	(例) 生命、健康、財産、家族など	
	優先されないもの	忌避されるもの (例) 死、病気、貧乏など	
		忌避も優先もされないもの (例) 髪の毛の本数、指の位置など	

(『ストア派』ジャン=パティスト・グリナ著、川本愛訳より。一部改めている)

【注】

- (1) 「善」と「悪」は魂にかかわり、「無差別のもの」は主に身体にかかわる。
- (2) 「善」とは、基本的には常に役に立つもの、あるいは常に利益をもたらすものである。
- (3) 「無差別のもの」とは、それらの用い方によっては幸福や不幸をもたらすがるが、それ自体では、幸福にも不幸にも貢献しないものことである。
- (4) 「徳」と「悪徳」については、扱われているのは倫理的な徳と悪徳である。徳はよく用いることしかできず、悪徳は徳の反対で、悪く用いることしかできない。
- (5) 「優先されるもの」と「忌避されるもの」の区別は、自然への適合性と有益性によってなされる。
- (6) 「優先されるもの」は「善」に次ぐ第二の地位を得ているが、善と同じではなく、「善」は越えられない価値をもっている。

	あ	い	う
①	快樂 欲望 恐怖 苦痛	不節制 不正 臆病 無思慮	節制 正義 勇氣 思慮
②	快樂 欲望 恐怖 苦痛	快樂 欲望 恐怖 苦痛	不節制 不正 臆病 無思慮
③	不節制 不正 臆病 無思慮	快樂 欲望 恐怖 苦痛	節制 正義 勇氣 思慮
④	不節制 不正 臆病 無思慮	節制 正義 勇氣 思慮	快樂 欲望 恐怖 苦痛
⑤	節制 正義 勇氣 思慮	快樂 欲望 恐怖 苦痛	不節制 不正 臆病 無思慮
⑥	節制 正義 勇氣 思慮	不節制 不正 臆病 無思慮	快樂 欲望 恐怖 苦痛

2 東洋源流思想について次のA・B二つの間に答えなさい。

A 「真理」に関して先生から次のような2つの文章が示された。それぞれについて下の問い(問1～5)に答えよ。

- (1) ゴータマはこの世界は苦しみに満ちていると感じ、その苦しみから逃れる道を求めて、王宮を出ました。(a) 当時の伝統に従って 苦行の道に入ったのです。そして6年、ゴータマは静かな瞑想の結果ようやく解脱にいたったとされています。ブッダが悟ったとされる真理について『ダンマパダ(真理のことば)』という経典は次のように語っています。

愛するものから憂いが生じ、愛するものから恐れが生じる、愛するものから離れたならば、憂いは存在しない。どうして恐れることがあろうか。
 欲情から憂いが生じ、欲情から恐れが生じる、欲情を離れたならば、憂いは存在しない。どうして恐れることがあろうか。
 妄執から憂いが生じ、妄執から恐れが生じる、妄執を離れたならば、憂いは存在しない。どうして恐れることがあろうか。
 『ダンマパダ』第十六章より

この『ダンマパダ』という経典は、仏教経典の中でも早い時期に成立したもので、いまも南方アジア諸国で尊ばれ愛誦されています。そのことばは素朴ですが、授業で教えた(b) 四諦説、四法印といったブッダの悟りの内容がわかりやすく語られています。

問 1 下線部(a)に関して、当時のインドの思想的伝統について述べた次の記述のうち最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① インドに侵入してきたアーリア人たちはガンジス川流域に定住し、インドラ神を唯一の神として信仰し、その神をたたえる讃歌や祭祀の方法を4種のヴェーダにまとめた。
- ② インドでは神を祀るための祭祀が発達し、それを実行する司祭階級であるクシャトリアを頂点とする身分制度が形成され、職業と結びついて固定化されていった。
- ③ ヴェーダをもとにして、教理や祭祀の意味を考察するウパニシャッドの哲学が生まれたが、そこで輪廻の思想や解脱のための梵我一如といった思想が展開された。
- ④ ゴータマが生まれた時代には、伝統的なヴェーダの教えに基づきバラモンを強化しようとする思想家たちが現れたが、彼らは仏教からは六師外道と批判された。

問 2 先生の示した文章中の資料について生徒XとYが次のように話した。次の会話中の(あ)～(え)に入る適語の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

生徒X: 「愛するものから憂いが生じ、愛するものから恐れが生じる」というのは、後に四苦八苦としてまとめられる中の(あ)を言っているように思えるね。
 生徒Y: 「妄執」といっているのは物事に執着してしまう人間の(い)のことかな。

生徒X：そうだね。そして「～から、～が生じ、～から離れたならば、～は存在しない」という言い方は、原因や条件が関わり合っただけで物事や現象は起こるって仏教の基本的な教えである（う）を示しているんだよね。

生徒Y：そして、「憂いは存在しない、どうして恐れることがあろうか」というこのブツダのことは、（い）から離れることができれば、心身は悩みや苦しみから解放されて、静かな境地に達することができるって語っているんだよ。

生徒X：その境地はまさに（え）ってことだよ。

	あ	い	う	え
①	五蘊盛苦	煩悩	中道の教え	諸法無我
②	五蘊盛苦	原罪	中道の教え	涅槃寂静
③	五蘊盛苦	煩悩	縁起の教え	涅槃寂静
④	五蘊盛苦	原罪	縁起の教え	諸法無我
⑤	愛別離苦	煩悩	中道の教え	諸法無我
⑥	愛別離苦	原罪	中道の教え	涅槃寂静
⑦	愛別離苦	煩悩	縁起の教え	涅槃寂静
⑧	愛別離苦	原罪	縁起の教え	諸法無我

問3 下線部(b)に関連して、ブツダの四諦説や四法印の説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 四法印のうちの一切皆苦とは、この世界で悟りを得るためには、快樂を求めることをやめ、いっさいの欲望を断つために厳しい肉体的苦行を続けることによってのみ悟りは得られると説く教えである。
- ② 四諦のうち、集諦とは自分のなかにある根本的な無知、すなわち無明を自覚し、真実を知ることによって、苦しみから脱却することができ、安らかな境地へ至ることができるという真理を示すものである。
- ③ 四法印のうちの諸行無常とは、人間の行為は常に変化しあやふやなものであることを意味し、そのような常に自分の欲望によって引き起こされ定まらない心身の動きが苦しみを引き起こすという真理を示している。
- ④ 四諦のうち、道諦とは悟りに至るための正しい修行方法を説いたものであり、極端に走らず中道を取り、正しい見解、正しい決意、正しい言葉といった八つの実践を行うことによって正しい認識にいたることができるということである。

(2) 中国では、世界における真理、ものごとのあり方を「道」という言葉で示しています。例えば、孔子と老子はそれぞれ道について次のように語っています。

子曰く、富と貴きとは是れ人の欲する所なり。其の道を以て之を得しにあらざればおらざるなり。貧と賤しきとは是れ人の悪む所なり。其の道を以て之を得しにあらざれば去らざるなり。君子は仁を去りて、悪くにか名をなさん。 『論語』里仁編

道の道とすべきは、常の道にあらず、名の名とすべきは、常の名にあらず。無は天地の始に名づけ、有は万物の母に名づく。 『老子』第一章

孔子は「人は誰でも富や貴（地位や名誉）を欲しいと思う、でもそれが道すなわち正しいあり方でえたものでなければ、意味ないですよ」と言っているのです。そして貧乏だったとかバカにされるような職業や境遇であっても、正しいあり方のうえでそうなっているなら無理にそこから逃れようと思わなくていいんだというのです。孔子においては道とは（あ）ということですね。

一方、老子は「道」について「これが道だと語りうるものならば、それは不変の道ではない」と言っています。つまり老子は「道」とは名づけることのできないもの、(c)存在と非存在を超えたものであると言っているのです。これは孔子のいう（あ）のようなものではなくて、孔子のいう道とは資料中の語で言えば（い）ということになるでしょう。

問4 文中の（あ）・（い）に入る語の組合せとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | |
|------------------------------|-----|
| ① あ 人間がどのように生きるべきかという主体的なあり方 | い 仁 |
| ② あ 森羅万象を生みだしそれを支配しているもの | い 仁 |
| ③ あ 人間がどのように生きるべきかという主体的なあり方 | い 無 |
| ④ あ 森羅万象を生みだしそれを支配しているもの | い 無 |

問5 下線部(c)のようなとらえ方は荘子にもみられるが、荘子の主張の説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 荘子は心齋坐忘を説く。それは心からさまざまな分別の働きを取り除くことであり、自分を空虚にすることによって自然の大きな働きと一体化することである。
- ② 荘子は万物斉同を説く。それは万物は同じ一つの根源から生み出されたものであり、さまざまな違いを持っていても最後は又同じ一者に還っていくという主張である。
- ③ 荘子は逍遥遊を説く。それは人が一つ立場や見方に固執するようになることを防ぐため、常に居場所を変え仕事や人間関係を変えていくべきという教えである。
- ④ 荘子は無用の用を説く。それは物には無用なものはあっても人間には役に立たない者はいないということであり、人を短絡的に判断してはいけないという戒めである。

B 次の文章は、源流思想についての学習が終わった後に、先生がまとめとしての課題を示したものである。次の文章を読み下の問い(問6～問9)に答えよ。

思想は時代とともに変化します。東洋の思想について次の視点でまとめてみよう。

- 1 仏教や儒教が、時代の要請や(a)他の思想との論争などを通じて(b)どのように変化していったかを明らかにしよう。
- 2 (c)インドと中国の思想は周辺の諸国にどのような影響を与えたのだろうか。
- 3 それらの思想は現代に生きる私達にとってどのような影響を与えているのだろうか。
- 4 気づいたことを(d)友人と対話し、学びをさらに深めよう。

問6 課題中の下線部(a)に関連して、次の発言は、課題について調べたことや分かったことをまとめた発表の一部である。これを読み、下の(1)～(4)に答えよ。

私は中国で展開された儒教の中心的な考えに対して、(ア)がどのような批判をしているのかに興味を持ち調べたところ、資料の中に「(イ)」という記述を見つけました。さらに(ア)の主張を調べてみると、(ウ)ということも分かりました。このことから、(エ)と考えました。

(1) 発言中の(ア)に入れる人物名を、次の①～④のうちから任意の一つ選べ。

- ① 老子 ② 荀子 ③ 墨子 ④ 韓非子

(2) (1)で選んだ(ア)について、発表中の(イ)に入る記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① だから私は言うのだ。政治の原則がはっきりと分かっているならば、小国であっても富み、賞罰が正しく必ずおこなわれるなら、民が少なくても強い、と。賞罰がでたらめでは、国が大きいといえども兵は弱い、というのは、領地が真の領地ではなく、民は真の民ではないのである。領地も無く、民も無いというのでは、堯や舜でも王となることはできず、禹、湯、武の三王も強国となることはできないだろう。
- ② さて考えてみるに、人間の本性には生まれつき利益を追求する傾向がある。この傾向のままに行動すると、他人と争い奪いあうようになって、お互いに譲りあうことがなくなるのである。また人には生まれつき嫉んだり憎んだりする傾向がある。この傾向のままに行動すると傷害沙汰を起こすようになって、お互いにまことを尽くして信頼しあうことがなくなるのである。・・・だから、必ず先生の教える規範の感化や礼儀に導かれて、はじめてお互いに譲り合うようになり、礼儀の形式や道理にかなうようになり、世の中が平和に治まるのである。
- ③ 社会的な混乱が何を原因として起こるかを考察してみると、それは他人を愛さないことから起こっている。・・・父がわが身を愛して子を愛さないから、子を犠牲にしてわが利益を計り、兄がわが身を愛して弟を愛さないから、弟を犠牲にしてわが利益をはかり、君がわが身を愛して臣を愛さないから、臣を犠牲にしてわが利益をはかる。これはどうしたことか。みな他人を愛さないことから起こっているのである。
- ④ すぐれた真実の道が衰えて、そこで仁愛と正義を徳として強調することが始まった。人と知恵とさかしらがあらわれて、そこで互いにだましあうひどい偽りが起こった。身内の家族が不和になって、そこで子どもの孝行と親の慈愛が徳として強調されるようになった。国家がひどく乱れて、そこで忠義な臣下というものがあらわれた。

(3) (1)で選んだ(ア)について、発表中の(ウ)に入る記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 最も望ましい国は、理想的な君主が治めているといった国ではなく、自給自足で人々が自らの質素な暮らしに満足しているような小さな農村が理想であると考えていた
- ② 君主が領土を拡大することは他国の領土が削られた民が苦しみ財が浪費されることだと、侵略戦争は正義に反すると否定し、防御に専念することを主張していた
- ③ 人間は利己的な存在でそれが変わることはなく、ある出来事が自分の利益になるのか害を為すのか常に考えて打算的な行動をとる存在であると考えていた
- ④ 人が善を為すのはその性が本来的に善であるということではなく、偽善、つまりあとから人の手が加えられ、人為的に善に向かうようになったものだと主張していた

(4) (1)で選んだ(ア)について、発表中の(エ)に入る記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 彼は人の本性は悪であるという性悪説を説きました。しかし孔子をはじめ朱子に至るまで人間の本来の性は善であるというのが儒教の基本的立場です。その意味では彼が儒教においては異端であり、その礼治の思想はむしろ他学派の形成に力となった
- ② 彼はそのような人間観から、国を治めるには儒教の主張するような徳の感化による政治よりも、強力な君主の力のもとで、法律と刑罰の厳格な運用を行うことにより、社会の秩序を維持し、国を強くすることができると主張したのだ
- ③ 彼は儒教の説くような道徳は、本来の自然の道が見失われているからこそ必要になったのだと考えています。あえて作為を為さず本来の道のありように沿って生きることが重要だと考えたからこそ、何もしないことが良い政治であると説いたのだ
- ④ 彼は人が自他を区別せず愛し合い、互いに利をもたらすことが理想だと考えた。だからこそ、儒教も人を愛することを説くが、それは兄弟の愛であったり君臣の愛であるように自分の近いものを愛する差別の愛であると批判したのだ

問7 課題の下線部(b)に関連して、次の文章は生徒Zが「大乘仏教の成立」としてまとめたレポートの一部である。このレポート中の下線部について次の問にそれぞれ答えよ。

釈迦の入滅後、弟子たちは正しい教えを残すために、ブッダの言行録である経と、ブッダの定めた教団の規則である律をそれぞれまとめました。出家僧たちは教団を形成し、国王などの経済的庇護を受けながら世俗の生活からは離れ、自分たちの解脱や研究に没頭しました。そしてブッダの死後三、四百年が経った頃、新たな仏説がいくつも生まれました。『般若経』『華嚴経』『法華経』といった、後に大乘経典といわれる経典が、釈迦の説法として広がり始めたのです。これら新しい経にもとづき、今までの伝統的な部派仏教とは異なった新しい教えを説いた宗教運動が大乘仏教とよばれるものでした。大乘経典では、悟りを開いた仏の教えが語られると同時に、(e)大乘の修行者である菩薩の活躍が描かれます。この大乘仏教の運動はさまざまな迫害も受けたようですが、民衆の中に受け入れられ広がっていきます。そして、伝統的な仏教理論もくわえながら、空の思想や唯識思想といった(f)大乘仏教の経典を基にした理論が整備されていったのです。

(1) 下線部(e)に関して、大乘仏教の求道者が実践すべき六波羅蜜の徳目として、**適当でないもの**を次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① 布施 ② 精進 ③ 禪定 ④ 慈悲 ⑤ 忍辱 ⑥ 持戒

(2) 下線部(f)に関して、大乘仏教の理論についての説明として、最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 『般若経』などによりながら、ナーガルジュナによってすべての存在には固定的な本性はなく、ただ現象として現れるという空の思想が説かれた。
- ② 『華嚴経』などによりながら、アサンガラによって、この世界が実在していないと誤って考えてしまうのは人間の識(意識)が原因であるという唯識思想が展開された。
- ③ 『法華経』などによりながら、人間だけが仏になる可能性を持ち、その力によって他のすべての生き物をも救済するという一切衆生悉有仏性の教えが説かれた。
- ④ 『無量寿経』などによりながら、大日如来のすべての衆生を救おうという誓願を信じその名を称えれば必ず極楽浄土へ往生できるという浄土思想が展開された。

問8 課題中の下線部(c)に関連して、先生は次A・B 2枚の写真を示した。この写真を見た生徒の発言として最も適当なものを下の①～④のうちから1つ選べ。



- ① Aの写真は中国の敦煌の遺跡にある壁画だね。この絵によく似た絵が日本の法隆寺の壁画にもあったように、仏教は日本にも伝わったのだけど、朝鮮半島には仏教はほとんど伝わらなかったんだよね。
- ② Bの写真は、タイの寺院にある像で、死を迎える時の釈迦の姿を祀ってあるんだよね。ここに伝わった仏教は戒律と修行を重視するもので、出家した僧たちは今も民衆から尊敬を集めているというね。
- ③ Aの敦煌の写真に描かれているのは菩薩像なんだね。それでわかるように、中国やチベットに伝わったのは、自らの悟りを重視した上座部系の仏教で、大乘仏教は伝わらなかったんだよね。
- ④ Bの写真はタイの寺院にある金色に輝く像だね。タイはインドにも地理的に近くインドのヒンズー文化の影響を受けて、このような金色に輝くビシュヌ神の像を各地に造っているんだね。

問9 課題中の下線部 d に関連して、生徒Xと生徒Yが『孟子』の文章をもとに話をしている。次の『孟子』の文章(資料1・2)と、生徒Xと生徒Yの会話文を読み(あ)～(え)に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～⑧のうちから1つ選べ。

資料1

孟子は言う。
 「人民がいちばん貴い。その次に社稷(国の神さま)が貴い。君主はそれに比べて軽い。したがって、天子とは人民に推されたがゆえに就くものであり、諸侯はその天子に推されたがゆえに就くものであり、諸侯の大夫(上級家老)はその諸侯に推されたがゆえに就くものである。だからもし諸侯がその国の社稷を危うくするようであるならば、その諸侯を替え置くべきである。
 『孟子』盡心章句下

資料2

齊の宣王が質問した。
 齊宣王「殷の湯王が夏の桀王を追放し、周の武王が殷の紂王を討伐したというのは、本当にあったことなんですか？」
 孟子「本当にあったと伝えられています。」
 齊宣王「武王はもともと紂王の家臣でした。臣がその君主を殺してもよいのですか？」
 孟子「仁をだめにする者、この者を名付けて「賊」。義をだめにする者、この者を名付けて「残」。残賊の者は、ただの一人の男です。紂とかいうただの一人の男を武王が誅殺したとは聞いていますが、臣が君主を殺したとは聞いていません。」
 『孟子』梁恵王章句下

- 生徒X：資料1で孟子は政治において最も大切なのは(あ)だといっているんだね。中国の戦国時代にもうそんな思想があったのには驚きだよ。
- 生徒Y：授業で、孟子は(い)を説いたって習ったじゃないか。
- 生徒X：でもさ、孟子も五倫の教えを重視していて、そこには(う)という項目があるから、当然家臣と君主には絶対的な差があって、君主が偉いんだって思ってたよ。
- 生徒Y：孟子は君主は(あ)に推されて就くんだといってるよね。
- 生徒X：資料2を読むと、君主が討たれることがあったともいっているね。君主が仁や義をなくしてしまったらもうその時点で君主ではなくなっていると考えているんだね。家臣によって君主が討たれたということじゃないとはいっているけど。
- 生徒Y：まさに(え)の考え方だね。
- 生徒X：でも君主が仁や義をなくしたって誰が正しく判断するんだろうね。

	あ	い	う	え
①	民衆	霸道政治	父子親あり	小国寡民
②	民衆	霸道政治	君臣義あり	小国寡民
③	民衆	王道政治	父子親あり	易姓革命
④	民衆	王道政治	君臣義あり	易姓革命
⑤	天子	霸道政治	父子親あり	小国寡民
⑥	天子	霸道政治	君臣義あり	小国寡民
⑦	天子	王道政治	父子親あり	易姓革命
⑧	天子	王道政治	君臣義あり	易姓革命

3 次の二人の生徒による対話を読み、以下の問いに答えよ。

生徒S：倫理の授業で日本思想を学んできたけど、授業の始めには、「日本ってどんな国か考えてみよう。」って聞かれたよね。君はあの時どう考えた？

生徒T：僕は「アニメで有名な国」って答えたよ。アニメ抜きの日々は僕には考えられないから。君はどう思った？

生徒S：新型コロナの影響でこの夏は旅行に行けなかったけど、僕は旅行が好きだから「温泉が多くて緑と水が豊かな国」かな。他にもクラスでは「(a)神の国」だとか、「四季のある島国」とか、いろんな意見が出ていたよね。

生徒T：先生は、文化の面では日本独自のものもあるけど、いろんな(b)外来文化を受容して独自の文化を創り上げてきた側面も指摘していたね。

生徒S：(c)仏教などはそうかな？ お釈迦様が今の(d)日本の寺院や祈り方などを見たりしたらびっくりするかもね。でも、(e)江戸時代は鎖国をしていたから、外来文化の受容は少なかったんじゃない。

生徒T：いやいや、それまでに受容していた(f)儒教などに、(g)日本独自の側面も加わっていたし、(h)幕末には蘭学を始め、西洋の学術全般への関心が高まったから、そうとはいえないかなと思うよ。

生徒S：なるほど、そういう点では、日本思想は外来思想や(i)それまでの日本思想を含め、何らかの影響を受けながら(j)明治以降も発展していったと言えるんだろうね。

問1 下線部(a)に関し、次のア～エのうち、古代日本で信仰された神の特徴や、自然観についての説明として適当なもの2つの組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

ア：天上の「高天原」と地下の「黄泉国」とは、往来することはできなかった。
 イ：神話において神々は、無の状態から自らの意志で宇宙全体を創造した。
 ウ：神話に登場する神々は、「祀る神」であると共に「祀られる神」でもあった。
 エ：八百万の神々は人々に対し、恵みだけでなく害をもたらすこともあった。

- ① アとイ ② アとウ ③ アとエ
 ④ イとウ ⑤ イとエ ⑥ ウとエ

問2 下線部(b)に関し、日本文化や思想の特徴について考察した人物についての説明として、最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 丸山真男は『共同幻想論』を著し、国家は共同の幻想であり、日本思想における宗教や風俗なども共同の幻想だと表現した。
 ② 加藤周一は日本の文化について、日本古来のものと海外からの要素との両者が混在している「雑種文化」ととらえた。
 ③ 和辻哲郎は著書『菊と刀』で、日本の文化は和を重んじて他者の批判を避けようとする「恥の文化」であると考えた。
 ④ ルース＝ベネディクトは、日本文化には新しく入ってきた文化が古い文化の上に重なって共存する「日本文化の重層性」があると指摘した。

問3 下線部(c)に関連して、次の文章は、日本仏教の展開について述べたもので、空欄(あ)～(う)には、後のA～Fのいずれかの文が入る。空欄(あ)～(う)に入る語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

古代インドで発祥し、中国・朝鮮半島を経由して日本に伝来した仏教は、時代の変遷に応じてその内実を様々に変化させた。例えば、初期には一部の特権階級に信仰される時代が続いたが、やがて時代が下ると、(あ)、出家者・在家者を問わず、仏教の教えは万人に開かれる端緒として理解されるようにもなった。

しかし、幅広い民衆の間にまで信仰が根付くためには時間がかかり、平安時代中頃には(い)という末法思想の考えも広まった。末法思想は「他力」による救済を求める信仰を庶民の中にまで広める役割を果たし、特に鎌倉時代には、新たな思潮を生み出す母胎ともなった。

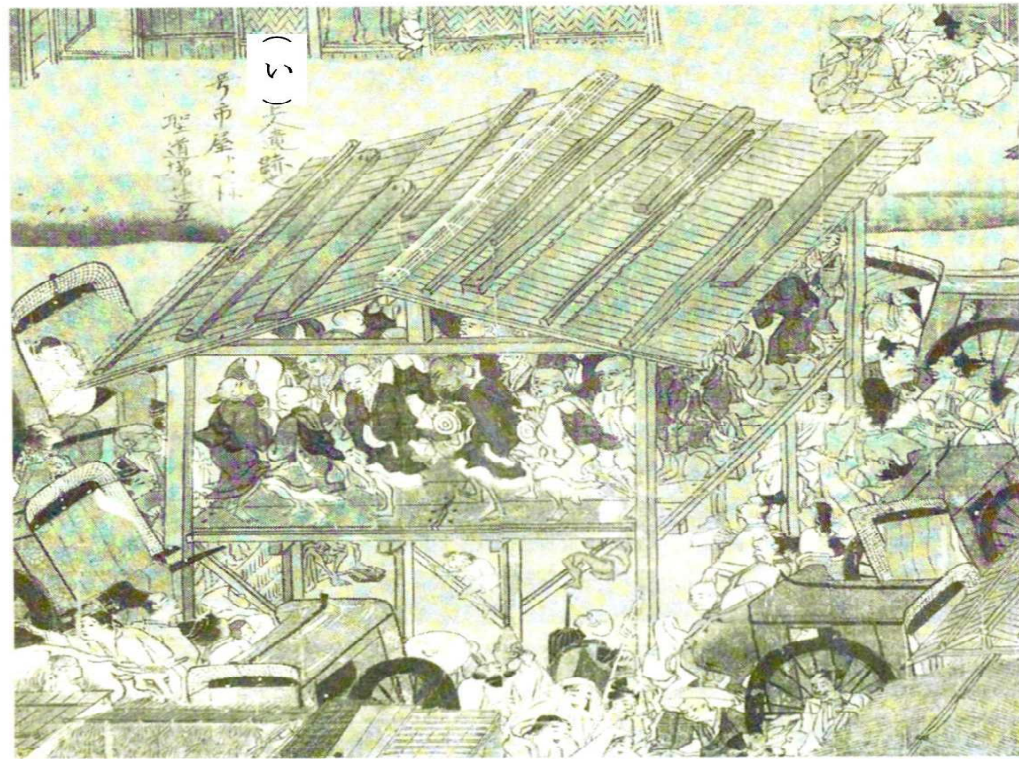
また一方で、この時代の仏教改革者の中には、(う)など「他力」思想の流行に左右されない立場から教えを広めようとする者もいた。

- A：聖武天皇が諸国に国分寺を建立して、鎮護国家を実現させようとしたように
 B：最澄が重んじた、生きとし生けるものは全て仏となる素質を持つという考えに示されていたように
 C：仏が説いた正しい教えや修行法はすでに失われ、悟りをも開くことができない
 D：悟りや正しい修行法は失われ、仏による教えだけがかろうじて残る時代に入る
 E：「身心脱落」の境地を理想として只管打坐の実践を説いた道元
 F：信仰の深さの意味を「専修念仏」の考えを用いて説いた法然

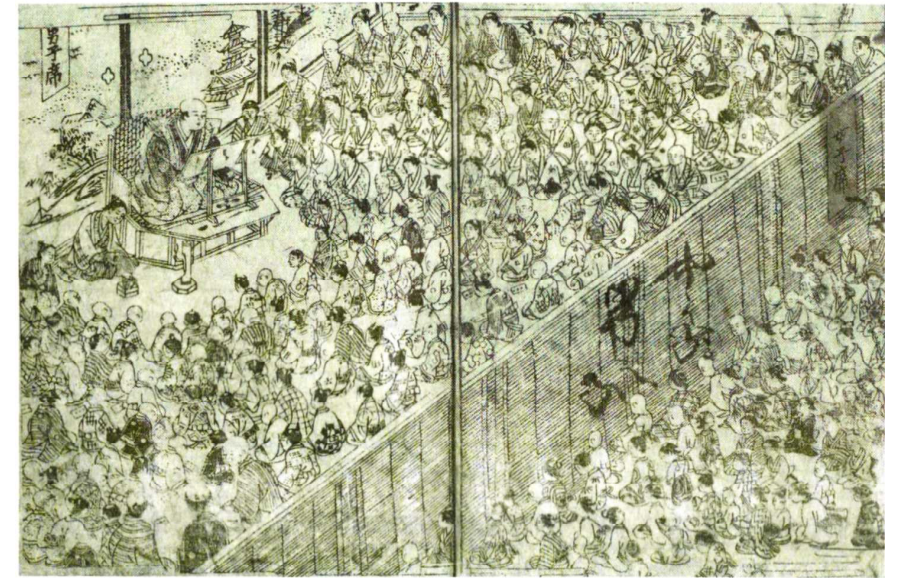
	あ	い	う
①	A	C	E
②	A	C	F
③	A	D	E
④	A	D	F

	あ	い	う
⑤	B	C	E
⑥	B	C	F
⑦	B	D	E
⑧	B	D	F

問4 下線部(d)に関連して、仏教のある宗派の教えについて、その後、生徒Sは以下の図に基づき授業で考察した。その授業における教員Aと生徒Sの会話文を読み、(あ)～(う)に入るものの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。



絵



教員A：中央に僧侶が描かれていますが、何をしているように見えますか。
 生徒S：狭いところに多くの僧侶がいて、（あ）ように見えます。
 教員A：そうですね。では、この僧侶たちは、誰の教えを信じる人たちだと思いますか？
 生徒S：一切を捨てて全国を遊行した一遍ですか。また、この祈りの方法は、図中にある（い）の影響を受けていて、一遍の教えを信じる人には、図にある状況は特徴的な行動ですね。
 教員A：その通りですね。この僧侶たちは、こういう行動をとることで（う）喜びを具現化していると言えるでしょう。
 生徒S：なるほど。これがこの宗派の特徴なんですね。

資料 売利を得るは商人の道なり。元銀(*)に売るを道といふことを聞かず。売利を欲といひて道にあらずといはば、まづ孔子の子貢(**)を何とて御弟子にはなされ候や。子貢は孔子の道を以て売買の上に用ひられたり。子貢も売買の利、なくば富むること有るべからず。商人の買利は（あ）に同じ。買利なくば（あ）無くして事(つか)ふるが如し。
 (石田梅岩『(い)』より)
 (*)元銀：元金と同じ。仕入れ値。
 (**)子貢：孔子の弟子、孔子の死後弟子たちのまとめ役を担う。商才に恵まれ財をなした。

生徒S：この絵は、石田梅岩の弟子である（う）が設定した「前訓の席」の様子だね。
 生徒T：絵をみると、梅岩による心学の教えは、庶民に受け入れられたことがわかるね。
 生徒S：資料にあるように、商人にとっては、その商売によって得る利益を（あ）と同じとってくれたのが嬉しかったんじゃないかな。
 生徒T：身分制度のもとで、低い身分におかれていた商人の仕事が肯定されたと感じたんだろうね。ところで、梅岩は封建道徳や封建制度自体をも否定しようとしたのかな。
 生徒S：そんなことはないと思うよ。その点から考えれば、絵をみると、男女の席が分けられているのがわかるじゃない。授業でも梅岩は朱子学や仏教、神道の教えを心学としてまとめ、『(い)』を著したと習ったよ。だから、封建道徳や封建制度自体を否定したんじゃないと思うな。
 生徒T：女子の席を設けたのだからすごいと思うけど。梅岩が特に重視した徳目の正直・儉約も商人だけではなく、広く市井に生きる人にとって重要なものと受け止められたんだろうね。

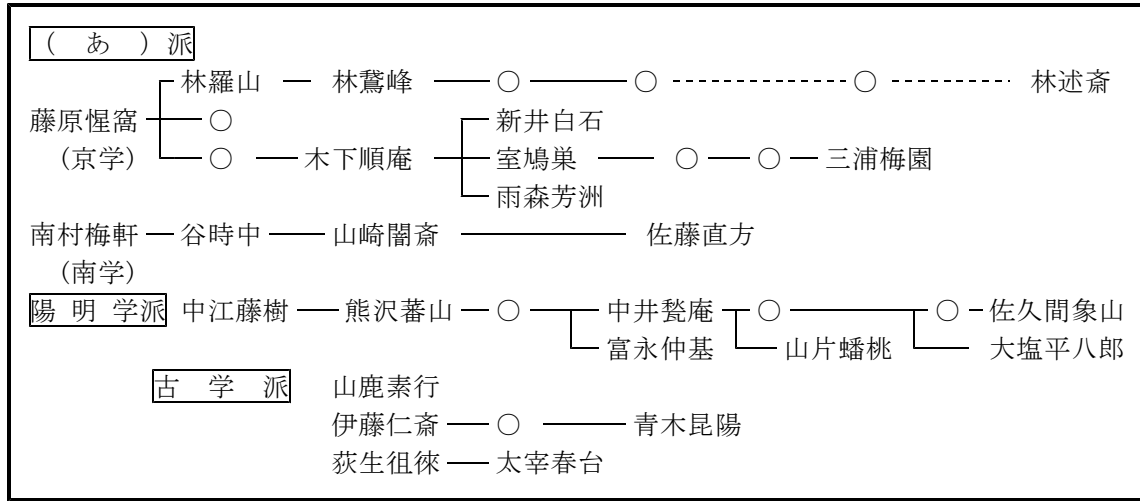
	あ	い	う
①	一心不乱に題目を唱えている	日蓮	阿弥陀仏に救済される
②	一心不乱に題目を唱えている	空也	阿弥陀仏に救済される
③	一心不乱に題目を唱えている	源信	阿弥陀仏に救済される
④	一心不乱に題目を唱えている	日蓮	大日如来と一体化する
⑤	一心不乱に踊り続けている	空也	阿弥陀仏に救済される
⑥	一心不乱に踊り続けている	源信	大日如来と一体化する
⑦	一心不乱に踊り続けている	日蓮	大日如来と一体化する
⑧	一心不乱に踊り続けている	空也	大日如来と一体化する

	あ	い	う
①	士の禄	翁問答	手島堵庵
②	士の禄	翁問答	太宰春台
③	士の禄	都鄙問答	手島堵庵
④	士の禄	都鄙問答	太宰春台

	あ	い	う
⑤	天の理	翁問答	手島堵庵
⑥	天の理	翁問答	太宰春台
⑦	天の理	都鄙問答	手島堵庵
⑧	天の理	都鄙問答	太宰春台

問5 下線部(e)に関連して、生徒Sと生徒Tが江戸時代の絵と、それに関連する資料をもとに話をしている。2人の会話文を読み、（あ）～（う）に入るものの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

問6 下線部(f)に関連して、次に生徒Sと生徒Tは、以下に示す江戸時代の儒学者の系統図を見て会話をしている。2人の会話文を読み、(あ)～(う)に入るものの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。



生徒S：この図を見ると、江戸時代の儒学者は藤原惺窩を始め、圧倒的に(あ)派が多いね。しかも、京学派と南学派とに細分化されているし…

生徒T：あれ？(あ)派の室鳩巢のだいぶ後の弟子に(い)を展開した三浦梅園がいるね。これは知らなかったなあ。

生徒S：三浦梅園と同時代の富永仲基や山片蟠桃は陽明学派なんだ。確か二人は大坂の(う)で学んだ町人の学者だったよね。

生徒T：いやいや、それにしても江戸時代の儒学者はたくさんいて、これはしっかり確認しておかないと次の試験の時に困るだろうなあ。

生徒S：確かにそうだね。どの人物がどのような業績をあげたのか、今のうちから整理しておこうよ。

	あ	い	う
①	朱子学	条理学	懐徳堂
②	朱子学	条理学	古義堂
③	朱子学	加上説	懐徳堂
④	朱子学	加上説	古義堂

	あ	い	う
⑤	訓詁学	条理学	懐徳堂
⑥	訓詁学	条理学	古義堂
⑦	訓詁学	加上説	懐徳堂
⑧	訓詁学	加上説	古義堂

問7 下線部(g)に関連して、次の文章は、江戸時代の日本で独自に展開した思想に関連するものである。この文章の著者が大成した学問を「ア・イ」から、この文章の著者が主張したことを「X・Y」から、そしてこの文章の著者の師匠である人物を「甲・乙」から、それぞれ選ぶとき、組合せとして最も適当なものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

学問して道を知らむとならば、まず漢意を清くのぞきさるべし。……そもそも道は、もと学問をして知ることにはあらず、生まれながらの真心なるぞ、道にはありける。真心とは、よくもあしくも、生まれつきたるままの心をいふ。

学問 ア：古文辞学
イ：国学

主張 X：世を治め民を救うことが天下に平和をもたらすと主張した。
Y：もののあはれを知る人こそ心あるよき人であると主張した。

師匠 甲：平田篤胤
乙：賀茂真淵

- ① ア-X-甲 ② ア-X-乙 ③ ア-Y-甲 ④ ア-Y-乙
⑤ イ-X-甲 ⑥ イ-X-乙 ⑦ イ-Y-甲 ⑧ イ-Y-乙

問8 下線部(h)に関連して、生徒Tは幕末の私塾と主宰者、そしてそこに学んだ思想家を整理しようと、カードにしてみた。そして、カードを分類するために、用意したA～Dの箱にカードを入れてみた。このうちCの「適塾の箱」に入るカードの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑨のうちから一つ選べ。

A「松下村塾の箱」 B「鳴滝塾の箱」 C「適塾の箱」 D「その他の塾の箱」

主宰者と塾生のカード			
ア：吉田松陰	イ：福沢諭吉	ウ：渡辺崋山	エ：高野長英
オ：緒方洪庵	カ：伊藤博文	キ：佐久間象山	ク：シーボルト

- ① アとキ ② イとオ ③ ウとエ ④ オとク ⑤ アとカ
⑥ イとオとキ ⑦ ウとエとク ⑧ イ ⑨ オ

問9 下線部(i)に関連し、江戸時代の国学から影響を受け、自らの学問を新国学と名付けて民俗学を展開した柳田国男についての記述として、最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人は常に人と人との「間柄」においてのみ人間たり得るのであり、決して孤立した個人的な存在ではないと考えた。
② 神の原像は外の世界である常世国から村にやってくるものと考え、これを客人を意味する「まれびと」だと指摘した。
③ 無名の職人が熟練した手仕事で作り出した民衆の日用品に固有の美を見だし、「民芸」という新語を造って運動をおこした。
④ 無名の「常民」を研究対象とし、彼らの日常生活に根ざした文化こそ、日本の基層文化であると主張した。

問10 下線部(j)に関連して、札幌農学校の2期生として学び、共にキリスト者として生涯を過ごした人物に内村鑑三と新渡戸稲造がいる。2人に関する記述として、**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 新渡戸は英文で『武士道』を著し、キリスト教に基づく人格主義・理想主義の教育に尽力して、多くの学生に影響を与えた。
② 新渡戸は、札幌農学校を卒業後に「太平洋の橋とならん」ことを欲し、国際連盟の事務次長をつとめて世界平和に貢献した。
③ 内村は日本の対外政策における日清・日露の両戦争について、当初から非戦論を唱え、聖書の立場を貫いた絶対平和主義を展開した。
④ 内村は、教会や儀式に重きを置かず、直接『聖書』に向かって、個人の内的信仰を深めることの重要性を強調した。

4 「倫理」の授業を受講している生徒 X,Y,Z の3人は、「普遍的な真理は存在するか?」という課題に取り組むため、西洋近現代思想について学ぼうと勉強会をすることにした。以下の A~C の文章を読み、問いに答えよ。

A 生徒 X は「西洋近代思想における懐疑論」というテーマでレポートを書こうと考え、様々な思想家について調べた。以下はそのメモである。これを読み問1~問3に答えよ。

【懐疑論とは】

絶対に正しい知識を認識することは人間にとって不可能だとする考え方。

【モンテーニュ】

(a)モラリスト。人間の知性は不完全である。

→「ク=セ=ジュ」…一切の判断を中止した謙虚な態度が大切。

【デカルト】

私たちが知る知識の中には不確実なものが含まれている。

→(b)知識の確実性を疑う必要がある。

【ヒューム】

(c)人間は経験を超えたことについては確実な知識を得られない。

→全ては主観的・自我は知覚の束・因果法則は習慣の産物。

問1 下線部(a)を書いた生徒 X は、他のモラリストの思想について調べてみた。モラリストに属する思想家についての説明として、最も適当なものを次の①~④のうちから一つ選べ。

- ① 自らの意志で神との合一に至ることも、獣に墮落することもできる自由意志を持っている点に人間の尊厳があると主張した。
- ② 人間は、考えることができるという点で偉大な存在であるが、同時に無力な身体を持った惨めな存在でもあると主張した。
- ③ 神から与えられた使命である自らの職業において成功することが、自らが救済されるという確信につながると主張した。
- ④ 人間が生来持っていたはずの憐憫や同情の心が、文明社会の中で失われてしまったと考え、文明を捨て、新たな理想の共同体を作るべきであると主張した。

問2 下線部(b)を読んだ生徒 Y は、「たしかにデカルトは知識の確実性を疑ってはいるが、メモに書かれている懐疑論の立場とは異なるのではないか」と疑問を持ち、そのことについて指摘した。その指摘として最も適当なもの次の①~④のうちから一つ選べ。

- ① デカルトは、自然現象は機械的に運動するという自然観を持っていたのであるから、懐疑論とは言えないのではないか。
- ② デカルトは、思惟する実体である精神と延長を持つ実体である身体をそれぞれ独立したものと捉えていたのであるから、懐疑論者とは言えないのではないか。
- ③ デカルトは、人間の精神は自らの自由な意志によって情念を抑えることができる高邁さを具えていると主張していたのだから、懐疑論者とは言えないのではないか。
- ④ デカルトは、真理を探究する力である良識が全ての人間に平等に分配されていると考えていたのだから、懐疑論者とは言えないのではないか。

問3 下線部(c)を読んだ生徒 Z はヒュームのこのような思想が、カントを「独断のまどろみ」から覚醒させたことを思い出し、調べてみた。カントはどのような点でヒュームの思想の影響を受けていると言えるか、その説明として最も適当なものを次の①~④のうちから一つ選べ。

- ① カントは、ヒュームの「人間は経験を超えたことについては確実な知識を得られない」という主張に同意し、人間は経験によって受け取ることができる範囲内で、理性を働かせることによって自然法則などを正しく認識できると考えた。
- ② カントは、ヒュームが経験による認識は主観的なものに終わるという主張に同意し、経験によらず、純粋に理性のみによって認識することで、世界の全ては唯一の実体である神のあらわれであることが捉えられると主張した。
- ③ カントは、ヒュームが「自我は知覚の束」と主張したことに反発し、自我は幼いころからの教育やしつけなどの経験によって形成される道徳的な主体であり、その経験に従って行動することが善であると考えた。
- ④ カントは、ヒュームが「因果法則は習慣の産物」と主張したことに反発し、偏見や先入見などのイドラに囚われず、実験や観察を重ね、事実を収集することによって、正しい因果法則を見出すことができると主張した。

B 生徒 Y は「ヘーゲル哲学と後世への影響」というテーマでレポートを書くため、勉強会で以下のスライドを用いて発表した。以下のスライドα・βを見て、問4~問6に答えよ。

スライドα

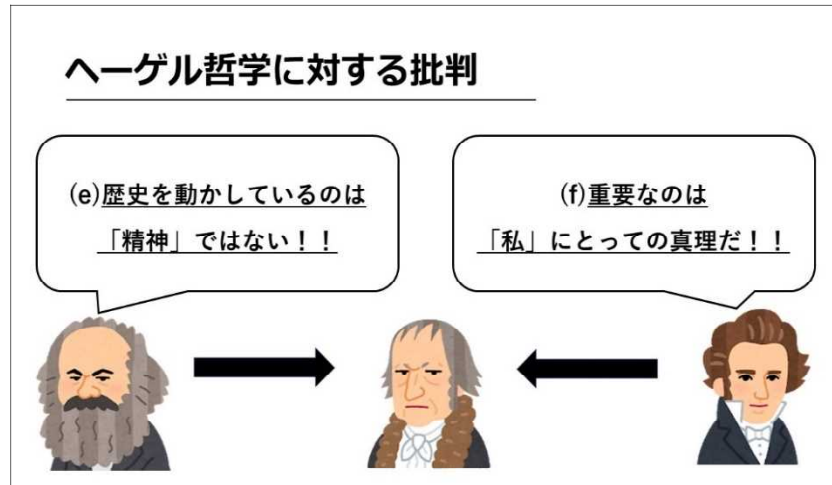
ヘーゲル哲学とは。

カントの道徳法則に対する批判

- ①道徳→法→人倫…完成としての国家
- ②全てのものの根底には「精神」がある。
- 「世界史とは自由の意識の進歩である」
- ③ゲルマン世界において自由は完成する。
- 絶対精神の自己展開・④理性の狡知



図 d



問4 図 d について、生徒 Y は以前行ったルネ・マグリットという画家の展覧会で見た「ヘーゲルの休日」という絵画をスライドに用いることにした。下の文章はこの絵画にその題をつけた理由を、マグリット自身が説明しているものである。この理由の下線部分と もっとも関わりの深いヘーゲルの思想として適当なものを、スライドαの①～④のうちから一つ選べ。

私は、ヘーゲル（ドイツの哲学者）ならば、水を欲しない（はね返す）と同時に欲する（容れる）という、2つの対立する機能を持ったこのオブジェに対して、とても敏感に反応したらうと考えました。彼はこれに魅惑されるか、これを（休暇中のように）楽しむか、したらう、と私は思います。それで私はこの絵を「ヘーゲルの休日」と名付けました。

問5 下線部(e)に関する資料として、生徒Yは以下の文章を提示した。この文章の内容を理解した発言としてもっとも適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

人間は、その生活の社会的生産において、一定の、必然的なかれらの意志から独立した諸関係を、つまりかれらの物質的生産諸力の一定の発展段階に対応する生産諸関係を、とりむすぶ。この生産諸関係の総体は社会の経済的機構を形づくっており、これが現実の土台となって、そのうえに、法律的、政治的上部構造がそびえたち、また一定の社会的意識形態は、この現実の土台に対応している。

- ① 人間はみな自分の意志で利己的に利益を求めるものだけど、そうすることが不思議と社会全体の利益につながっていくってことだよ。
- ② 政治には民主主義とか色々な形があるけど、その形を決めているのは、社会の土台にある物を作ったり、売り買いしたりする経済的な関係ってことだよ。
- ③ 世界には色々な法律があるけど、どの国の法律もその社会の思考法や文化の中で成立しているものなのだから、むやみに否定するのは間違っているってことだよ。
- ④ 政府は社会の上部にあって、下部に位置する人民を統治しているけど、それができるのは人民が自分たちの権利を政府に託しているからだってことだよ。

問6 下線部(f)について、生徒Yは資料を提示しようとしたが、資料をまとめた束を落としてしまい、ここで引用した資料が誰の文献から抜粋したものであるか、分からなくなってしまった。この下線部の主張を裏付ける資料として、適当なものを下の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 「おのれの死とは、とりもなおさず、もはや現に存在しえなくなるものの可能性である。現存在がこのようなおのれ自身の可能性として現存在自身に差し迫ってくる時、現存在はひたすら、ひとごとでない自己の存在可能性へ差し向けられている」。
- ② 「内面性の情熱の極致において主体が獲得し、そして全情熱を傾けてすがっている客観的不確かさ、これこそが真理である、これこそが実存に生きる者にとって実在する最高の真理である」。
- ③ 「私たちが越え出ることもしないし、変化させることもできない状況が存在するということであって、これらの限界状況はかの驚きや懐疑に次いで、哲学のいっそう深い根源なのである」。
- ④ 「人間はみずからつくるところのもの以外の何ものでもない。以上が実存主義の第一原理なのである。これがまたいわゆる主体性であり、まさしくそのような名で世人がわれわれに非難しているものなのである」。

C 生徒Zは「プラグマティズムの思想」というテーマで発表した際に、ホワイトボードに以下のような板書をした。以下の板書を見て問7～問9に答えよ。

プラグマティズム：「行為」を意味する語に由来するアメリカで生まれた哲学。 仮説と検証を繰り返し「より妥当な知識」を求める。		
・ パース プラグマティズムの格率 (h) <u>科学の方法</u>	・ ジェームズ 真理の有用性 心理・宗教への適用	・ デューイ (i) <u>道具主義</u> ・創造的知性 (j) <u>社会問題</u> への適用

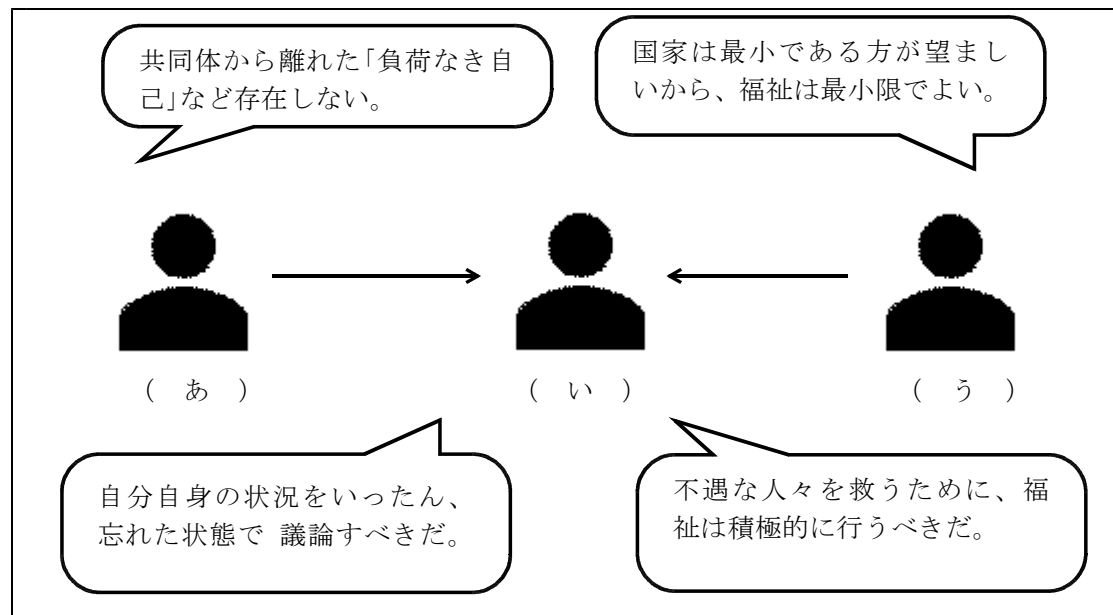
問7 下線部(h)について、生徒Zはパースと同じように科学について論じた思想家が他にもいることに言及した。科学について論じた思想についての記述として、最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① クーンは、ダーウィンの適者生存の理論を取り入れ、人間の社会は、パラダイム=シフトを繰り返すことで、より理想の形へと発展していくと主張した。
- ② クワインは、既存の自然科学がロゴス中心主義に陥っていると考え、自然科学の基礎となる見方を脱構築することが必要であると主張した。
- ③ ポパーは、誤っていることを証明できる知識、つまり反証可能性を持つ知識こそが科学的であると主張した。
- ④ ウィトゲンシュタインは、自然科学において用いられる言語は、現実の世界を写し出すものでなければならないということを言語ゲームという語を用いて主張した。

問8 下線部(i)について、生徒 X は「道具主義」とはどのような立場か生徒 Z に質問した。その質問に対する正しい答えとして、最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 他者を道具として捉えるのではなく、目的として尊重すべきと考える立場です。
- ② 人間とは道具を用いて物を作り出す「ホモ=ファーベル」であると考えられる立場です。
- ③ 理性とは目的を達成するための方法を見出すための道具であると考えられる立場です。
- ④ 知識や学問は社会の中で起こる問題を解決するための道具であると考えられる立場です。

問9 下線部(j)について、生徒 Y はアメリカで「あるべき社会の形」について考察した3人の思想家がいることを知り、この3人の思想について以下のようにノートにまとめた。空欄(あ)～(う)にはそれぞれ、ノージック・サンデル・ロールズのいずれかが入るが、その組み合わせとして適当なものを下の①～⑥のうちから一つ選べ。



	あ	い	う
①	ノージック	サンデル	ロールズ
②	ノージック	ロールズ	サンデル
③	サンデル	ノージック	ロールズ
④	サンデル	ロールズ	ノージック
⑤	ロールズ	ノージック	サンデル
⑥	ロールズ	サンデル	ノージック

D 勉強会が終わった後、3人は振り返りを行った。

問10 以下は振り返りの中で X,Y,Z がした発言である。以下の発言は「A のメモ」「B のスライドα・β」「C の板書」の全ての内容に合致しているか。その正誤の組み合わせとして適当なものを下の①～⑥のうちから一つ選べ。

X : 自然科学の領域については、どの思想家も普遍的な真理に到達できると考えている反面、社会的な問題を扱う領域においては、検証し続けることが大切であると考えられる思想家もいるということがわかりました。

Y : 知識を少しずつ改良してより妥当性の高い真理に近づけていこうと考える思想家もいる一方で、普遍的な真理が存在するか否かよりも、自分にとっての真理を追究しようとする思想家もいることがわかりました。

Z : 現代の思想家に比べ、近代の思想家は理性に対する信頼を持っていると思っていましたが、近代の思想家がみな、必ずしも「普遍的な真理を人間が知ることができる」と考えていたわけではないことがわかりました。

- ① X - 正 Y - 正 Z - 誤
- ② X - 正 Y - 誤 Z - 正
- ③ X - 誤 Y - 正 Z - 正
- ④ X - 正 Y - 誤 Z - 誤
- ⑤ X - 誤 Y - 正 Z - 誤
- ⑥ X - 誤 Y - 誤 Z - 正

5 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

次の会話は、一人の学生が夏休みに出身高校の元担任を訪ねた時のものである。

学生：先生！ お久しぶりです！

師：あれっ、君は(a)青年海外協力隊の一員として西アフリカに行ってたんと違うんか？

学生：はい、現地の小学校で算数を教えてたんですけど、今回のコロナ禍で帰国命令が出たんで帰って来ました。(b)子どもたちが心配で、心配で！ まるで母親気分です！

師：ええ教師になっとるやないか！ さすが、私の教え子や。(^^)/

学生：出藍の誉れやと思います。

師：・・・・・・。

学生：で、帰って来て思うんですけど、日本は今までに経験したことのない(c)豪雨・河川氾濫、猛烈なスーパー台風を毎年経験してますよね、今年は特に難儀な新型コロナまで！

師：人びとに(d)危機感が薄いんかもな。アフリカはどうなんや、やっぱ問題山積か？

学生：異常気候もですが、私が派遣された国では衛生状態も医療環境も良くないですね。新型コロナもこれから蔓延するでしょうし！ 底流にある(e)貧困問題が深刻です。

師：世界を見渡すと、看過できない問題も多いよな。国を統治する者が意見を異にする人たちを弾圧している例が今も見受けられるのは嘆かわしいことや。外国のことやから関係ないと思わんほうがええ、いつの間にか日本も、てなことにならんようにせな。

学生：今年はヒロシマ・ナガサキ 75 の年でした。テレビの特集番組を見てみると、戦地から命からがら生還された 90 歳代の男性が「戦友の死を美化してほしくない、みんな戦死ではなく餓死、マラリヤ死だったんだ！」と慟哭しておられました。

師：・・・・(涙)。私は日本はいつまでも「戦後」でええと思うてる。今日を「戦前」にしたらあかんのや。そのためには(f)人権を守る不断の努力が必要やと思う！

学生：御意！ そう言えば、コロナ禍の憂鬱もあるのか(g)SNS上で見も知らぬ人を攻撃して面白がっている人もいますよね。得体のしれない多数の人たちに攻撃された人の心情を察しないよね！ もしその人が本当に(h)ホモ・サピエンスなら！

「銃じゃなく 指だけで人を 撃つ時代」、これ、高校生川柳の入選作を私風にアレンジしました。さらに言えばこの夏、難病の方がみずから安楽死を選ばれるという衝撃の出来事がありましたね。(i)命の尊さを考えるいい機会やったと思います。一部の人たちが生きづらい社会って、結局みんなが生きづらい社会ですもん。

師：いかにも！

学生：なんか私たちの応答、くすぐりだけのバラエティ番組みたいですね！

お口直しに高校生川柳をもう一句！ 「猛暑日に 三者面談 凍りつく」。

師：こわあ～！ 自分の高三時代を思い出したわ！ま、今年はリモート授業もしたけど、やっぱ授業はライブやで！ 学問は魂と魂の交流や！

いろんな事情があるから動画授業を全否定はせんが、生徒と問答あってこそその授業や。演奏会も寄席も絵画鑑賞も同なじや。動画授業ではソクラテスが出る幕ないしな！

学生：先生って、現代のソ・・・・。

師：みなまで言うな・・・・(^^;)。

学生：コロナ禍が(j)世界の在り方を急速に変えつつある今、ソフィストまがいのポピュリストたちが出番を窺うてる気がします。気をつけて政治や社会を注視しておかないと！

師：終戦 75 年の日、新聞に次のような歌が紹介されてた。わが子をどうしても異国の地満州に残して引き揚げざるをえなかった母の歌や。

「歩くから 連れていってと 素足の子が 逃避の群れに まとひつきをり」

学生：ことばが出ません。戦争は絶対ダメですよね・・・・。

問1 下線部(a)に関連して、国際平和と国際貢献に関する以下の文章を読み、正しく説明しているものとして、最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

① 世界には多くの国や地域で民族紛争などがあり、難民が発生している。日本は難民条約を批准しており、地域を問わず、また政治難民・経済難民の別を問わず、多くの難民を受け入れており、世界屈指の難民受け入れ国になっている。

② 青年海外協力隊は、国連機関であるユネスコから、援助を必要とする発展途上国に直接派遣されている国連の下部組織であり、教育をはじめ医療技術、農業支援、その他スポーツの技術指導まで、幅広い分野で活動している。

③ 人に優しく環境にも配慮する方法を用い、発展途上国の人びとが生産した物品を、適正な価格で持続的に買い入れ、途上国が輸出だけに頼らずに自立を果たし、貧困から抜け出すことを支援する取り組みの1つとしてフェア・トレードがある。

④ 核兵器の全廃と根絶を目的として「核兵器禁止条約」が、50 の国と地域の批准により 2021 年 1 月に発効することになった。唯一の被爆国日本は難しい安全保障環境にありながらも、国民の悲願である核兵器廃絶のために条約提案国に名を連ね、貢献した。

問2 下線部(b)に関連して。次の文章は、人間の青年期について述べたものである。文中の(あ)～(え)に入る語句・文章の組み合わせとして、最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選べ。

古代にくらべ人の寿命が長くなり生き方も多様になってくると、子どもから大人へと移行する時期を青年期と認めるようになり、さまざまな考察がなされるようになった。たとえば(あ)は人生を8つの発達段階に分け、青年期の重要な課題として「自分は何者なのかを考え、自分の価値観や世界観を育成し、内的な一貫性を保つことが大切である」と考えた。これを(い)という。一方で彼は、青年期を子どもから大人への過渡期ととらえ、この時期にいろんな体験をし、働くとは、生きるとは、などを考え、(う)。
ただ、現代の青年に見られる現象として、学校を卒業し職に就きながらも、親の家に同居し社会的・経済的に自立しない未婚の人たちが現れた。彼らは(え)と呼ばれ、経済的に恵まれているイメージで語られていた面もあったが、近年は非正規労働者の増加による低賃金、雇用の不安定化にともなう晩婚化などがあり、必ずしも経済的に恵まれているとも言えず、むしろ同情すべきジェネレーションなのかもしれない。

(あ) a ルソー b レヴィン c エリクソン

(い) a アイデンティティの確立 b 第二の誕生
c マージナルマンの自覚

(う) a この時期の人を権威的な存在から精神的に自立するモラトリアム人間と呼んだ。
b この時期を社会に出るための大切な準備期間としてモラトリアム期と呼んだ。
c この時期の人を、もう子どもでもなく、まだ大人でもない境界人と呼んだ。

(え) a ピーターパン・シンドローム b 小さな大人
c パラサイト・シングル

	あ	い	う	え
①	a	c	a	b
②	a	b	b	c
③	b	a	c	a
④	b	c	c	a
⑤	c	b	a	b
⑥	c	a	b	c

問3 下線部(c)に関して。20世紀後半から環境問題に関していくつかの国際会議が開かれている。任意にA:「開催年」を選び、それに適合するB:「開催地」、C:「スローガン」、D:「会議についての説明」、をそれぞれ選択し、各番号を解答欄に記せ。なお、Aでどの年号を選んでも、B・C・Dに正解はある。

* B:開催地については、同一語句を複数回選択してもよい。

- A ① 1972年 ② 1992年 ③ 2012年
- B ① リオデジャネイロ ② ヨハネスブルク ③ スtockホルム
- C ① われわれが望む未来 ② かけがえのない地球 ③ 持続可能な開発
- D ① 世界中から首脳が集まったので地球サミットと呼ばれる。この会議では環境問題を懸念する先進国と、これから経済発展を望む発展途上国の間で議論が交わされ、将来生まれてくる人びとの利益を損なうことなく現在生きている人びとの経済発展をめざすことで合意がなされた。
- ② 国連人間環境会議と呼ばれ、人は環境の創造物であると同時に、環境の形成者であるという認識のもと、環境問題の解決が人類の福祉や生存権確保のために極めて重要であることが合意され「人間環境宣言」が採択された。この宣言のもと各国が環境問題解決のため積極的に行動することが確認された。
- ③ この会議では、グリーン経済が重要な手段と位置付けられ、各国は行動目標となる「持続可能な開発目標(SDGs)」の策定では合意したが、欧州はグリーン経済について債務危機を理由に懸念を示し、発展途上国も経済成長を阻害しかねないとして強く反発したため、合意文書は大きく後退した形で決着した。

問4 下線部(d)に関連して、環境問題に危機感を持った人たちがさまざまな立場から発言している。次の説明文は、誰の考えを述べたものか、最も適当な人物名を、下の①～④の中から一つ選べ。

各個人が合理的ではあるが利己的な行動をとった場合、どのようなことが起こるだろうか？ 誰のものでもない牧草地に各人が適正な数の牛を放牧していれば、それぞれ利益を得られるが、儲かるからといって各人が放牧する牛の頭数を増やしてしまうと、牧草地は牧草供給の能力を超えてしまい、結果的に全員が不利益を被ってしまうのである。

- ① G・ハーディン ② R・カーソン ③ P・シンガー ④ ハンス＝ヨナス

問5 下線部(e)に関連して、貧困について現状は世界を見回しても日本を見回しても、解決にはほど遠いものがある。貧困に関わる問題を説明したものとして、最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 現代社会は情報社会であるといえる。21世紀に入り日本でもいたるところでネットにつながるユビキタスの実現を目指してきたが、2020年現在、誰でもが有益な情報を発信でき、また受けとることができるユビキタス社会が実現した結果、メディア・リテラシーの差によるデジタル・デバイドを理由とする経済的・社会的格差はなくなったと考えられ、情報社会を原因とする貧富の格差は特になくはないといえる。
- ② グラミン銀行というものがある。これは貧困層向けに無担保の少額融資を行う銀行であり、5人一組がグループとなり連帯保証に基づいて融資を受け借金を返済することが条件である。この連帯責任制が担保の役割を果たす仕組みになっており、この銀行は20世紀末にワングリ・マータイがバングラディッシュに設立したものである。この試みはグラミン・モデルと呼ばれ貧困層に自立の機会を与えるものとなっている。
- ③ 日本は20世紀末ごろから雇用関係の流動性を促進するため、各人が好きな仕事を選び能力にあった仕事に就くことができるよう転職をやすくした。さらに自分のスキルアップをはかるための留学などをやすくした。その結果、終身雇用制は崩れ正社員が減少したが、契約社員や派遣社員、フリーターが増え雇用は安定した。21世紀に入り、リーマン・ショックなどの経済危機の影響も少なかったため貧困層は増えなかった。
- ④ アマルティア・センは、貧困や格差問題を考える場合、結果だけを見てはならないと考えた。福祉とは貧しい人にお金を給付すれば良いというわけではない。彼は、人が毎朝食事をとれているか、学校へ行っているか、社会参加できているか、といったさまざまな機能の全体を潜在能力と呼び、貧困につながる潜在能力が欠けていることが問題の根本であると分析し、潜在能力を高めるような福祉政策を推進せよと説いた。

問6 下線部(f)に関連して、次のア～エの文章は人権問題に関する説明である。各文章の正誤を判定した組み合わせとして、最も適当なものを下の①～⑥の中から一つ選べ。

- ア リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは、人間の生殖システムおよびその機能と活動のすべての過程において、身体的、精神的、社会的に良好な状態にある「性に関する健康を享受する権利」をいう。つまりすべての人が、特に女性が自分の出産について、産む、産まない、いつ産むかなどを自由にまた責任をもって自ら決定できる権利をいう。
- イ 日本は単一民族で構成される国家ではない。たとえば先住民族としてアイヌ民族がいる。日本では20世紀末にアイヌの人々の民族としての誇りが尊重される社会の実現を目的に「アイヌ文化振興法」が公布され、彼らを固有の民族として初めて法的に認めた。これにともない明治以来、日本人への同化を目的に制定されていた「北海道旧土人保護法」は廃止された。なお振興法は近年廃され「アイヌ民族支援法」が成立した。
- ウ 子どもの権利条約は、子どもの自由と権利を保障するために既に国連で採択されているが、日本では2020年現在批准されていない。その理由として条約採択当時、日本も他の先進国同様18歳で選挙権を認める方向であったため、「意見表明権」の最低年齢も選挙権にあわせ18歳からでよいという世論の後押しがあったからである。
- エ アメリカでは2020年、白人警官による黒人射殺事件をきっかけに非暴力的で「市民的不服従」運動を主とした抗議活動が起こった。この「市民的不服従」は黒人の公民権運動指導者であるキング牧師の考えを継承していると考えられる。一方、アメリカには白人至上主義者団体も存在し、彼らは「BLM(Black Lives Matter)」つまり、「黒人の命は普通の問題である」、つまり、取り立てて騒ぐ必要はないと主張している。

- ① アー正 イー誤 ウー正 エー誤
- ② アー誤 イー正 ウー誤 エー正
- ③ アー正 イー正 ウー誤 エー誤
- ④ アー誤 イー誤 ウー正 エー正
- ⑤ アー正 イー誤 ウー誤 エー正
- ⑥ アー誤 イー正 ウー正 エー誤

問7 下線部(g)に関して、下のグラフは総務省が発表した「令和元年（2019年）通信利用動向調査」（2020年5月発表）の結果である。それについて、師と学生が話している。
 （あ）～（う）に入る選択肢の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

師：SNSが普及してwifi環境も整い、情報の伝達はずいぶん便利になったけど負の面も多いよな。ここに総務省が調査した意識調査がある。グラフ1『SNSの利用状況』を見てみると、（あ）と思うなあ。

学生：両親の話では、昔は電車の中で新聞読んでいた人が多かったとか。日本に帰って来て最大の驚きは電車の中で、ほとんどの人がスマホの画面を見ていることです。スマホ見るのはいいんですが、グラフ1で、SNSを利用して何か情報を取りに行くわけではなく（い）が約3分の1を少し超えた割合なのが、面白いなあと思いつつショックでした。いつの間にか悪意の第三者に誘導されて有害サイトに引き込まれないとも限りませんしね。

師：由々しき事態やと思う！表2『ネット利用で感じる不安』を見てみよう！

学生：90%近くの人たちが個人情報の漏洩に危惧を抱いているのは理解できます。私にも心あたりのないところから勧誘電話や有害メールが来ますもん。私の個人情報も漏れているのかと思うと気持ち悪いですね。

師：ウイルス感染や架空請求は、細心の注意を払えばまだ防げるが、自分のブログに書いた文章の揚げ足を取られて炎上させられてはたまらないよね。匿名をいいことに、フツウの人が知らない人を罵倒するなんて無責任だと思う。10%を少し超えるぐらいの人たちが（う）に不安を抱いているのは、ようわかる。分母を日本の総人口にしたら、不安な気持ちを持つ人の数はものすごいと思う。

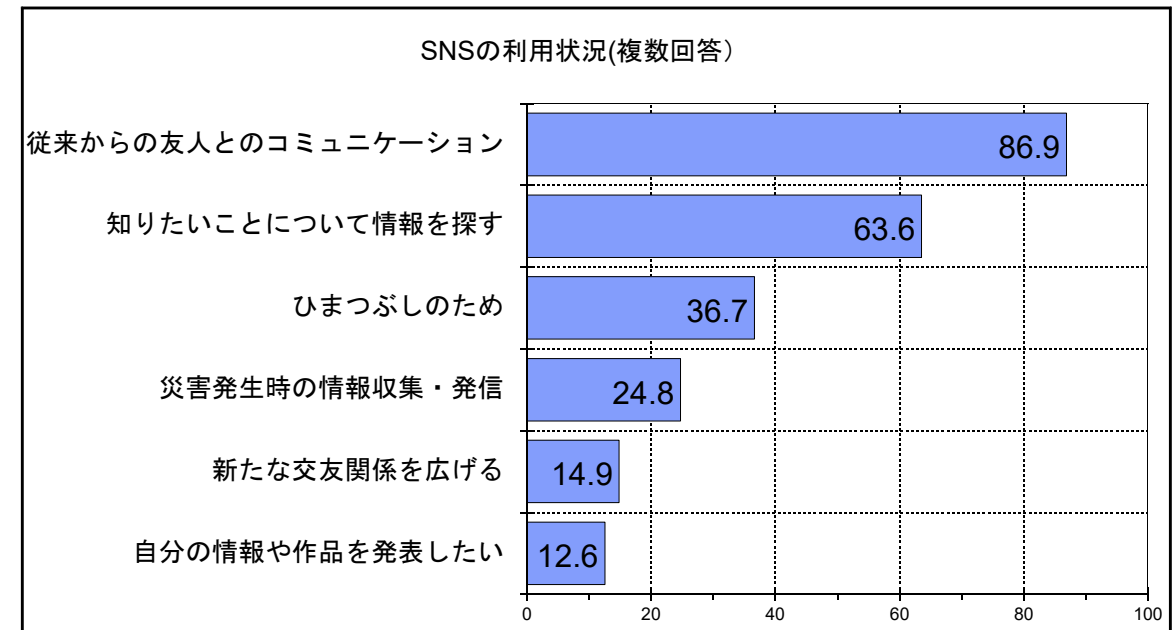
学生：そろそろ箱船を用意しないと・・・。

- (あ) a 「従来の情報交換、たとえば手紙は往復に時間がかかり、電話は相手を時間的にも空間的にも拘束していたけれど、SNSはその面が緩和された。1位になった項目が『従来からの友人とのコミュニケーション』で、80%を超える人たちがこれを選んだのはそれが理由だ」
- b 「マス・メディアを通さなくても、自分が得た情報や、自分が撮影した写真や動画を個人のレベルで簡単に発信したい、と答えた人が半数を超えているのはすごい」
- (い) a 「ひまつぶしのため」
- b 「新たな交遊関係を広げるため」
- (う) a 「電子決済の信頼性」
- b 「コミュニケーション相手とのトラブル」

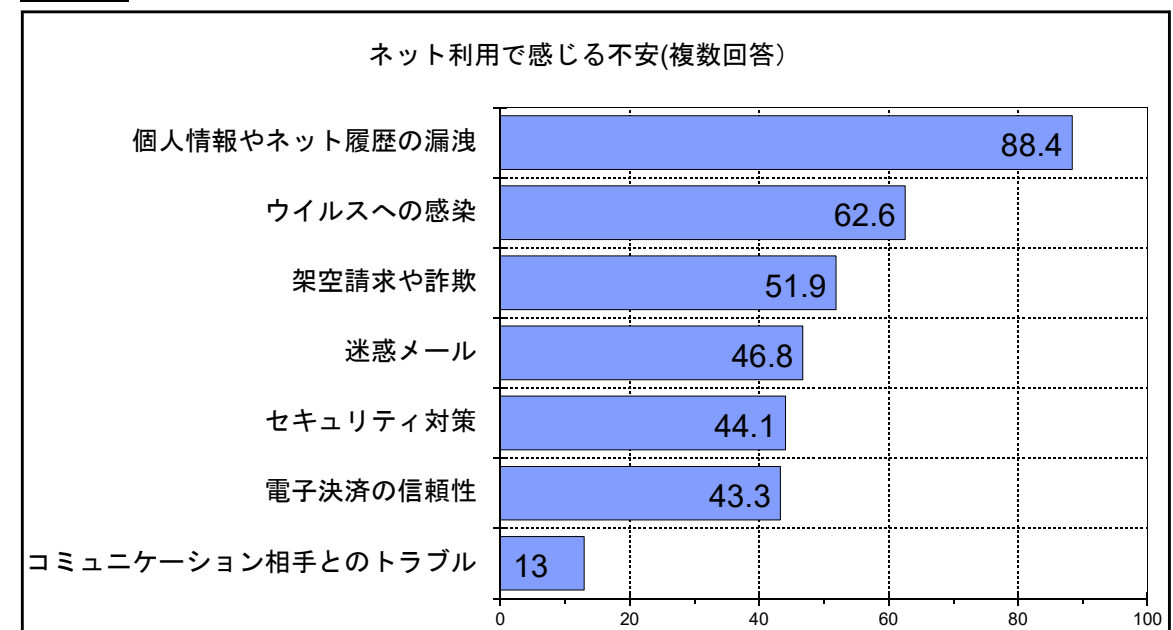
	あ	い	う
①	a	a	b
②	a	b	a
③	b	a	a

	あ	い	う
④	b	b	a
⑤	a	a	a
⑥	b	b	b

グラフ1



グラフ2



問8 下線部(h)に関連して、多くの人物がさまざまな人間観を示している。次の文章を読み、最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① フランスのベルクソンは、人間を遊ぶ人、つまりホモ・ルーデンスと定義し、人間は道具を作りそれを使って遊ぶことで身体能力を拡張し、創造力を高めていったと考えた。
- ② ドイツのカッシーラーは、人間を象徴を用いる動物、つまりアニマル・シンボリックムと定義し、現実世界のものをシンボル化して言語、神話、芸術などを理解すると説いた。
- ③ オランダのホイジンガは、人間をボリス的動物と定義した。人間は社会を構成し他者と社交を楽しみ、労働は奴隷にまかせ知的生活を営む。彼はこれを人間の特徴とした。
- ④ スウェーデンのリンネは、人間を工作人、つまりホモ・レリギオスと定義し、人間は自分たちの力を超えた偉大な力、あるいは神的なものを信じる存在であると定義した。

問9 下線部(i)に関連して、学生は恩師と久方ぶりに真面目に話し合った。会話文中の(あ)～(う)に入る語句、文章の組み合わせとして、最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

学生：「命の尊さ」は言うまでもありません。私の級友に看護学科を出た人がいます。看護師の資格を取りナースキャップを戴く「戴帽式」の感動は忘れられないと言っていました。式ではみんなでナイチンゲール誓詞を唱和するらしいのです。「わが力の限りわが任務のしるしを高くせんことを努むべし」という箇所、患者さんの命のために最後まで希望を捨てず、頑張る覚悟ができたと言っていました。

師：それに対して「命の質」つまり(あ)を問う考えもあるわけや。難病で日々痛みにさいなまれ、回復の可能性がないのならと、生死の判断を自分でしようとする人もいる。これは(い)の「他者危害の原則」に基づく考えや。現況を見てみると(う)軽々しく正誤の判断など出来ん微妙な問題やと思うな。

学生：そのとおりですね。生死の判断を自分がする権利は各人が持つと思いますが、かと言って、必死に闘病している人が生きづらい社会であってはならないですもんね。

	あ	い	う
①	SOL	ベンサム	安楽死法は日本では制定されていないため、早期の制定を、アムネスティ=インターナショナルから勧告されている。
②	QOL	ベンサム	オランダやベルギーなどでは 21 世紀初めに安楽死法が制定され、精神的な悩みでも安楽死は認められる。
③	SOL	J・S・ミル	安楽死はすべての人の生きる権利を奪うという考えから、安楽死禁止条約が国連ですでに採択されている。
④	QOL	J・S・ミル	安楽死法は日本では制定されておらず、安楽死を補助する行為は「囑託殺人罪」「殺人罪」に当たる。

問10 下線部(j)に関連して、次のア～ウの3つの文は世界の在り方について説明した文章である。その正誤の組み合わせとして、最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

ア 国境なき医師団は、戦争・自然災害・飢餓などに対し、国境を越えて人道的援助を行う民間団体であり、NGOであり、人種・宗教・信条・政治的立場にとらわれることなく、戦場であっても前線を越えて医師・看護師などが活動している。どこからも干渉されず自主的に活動する姿勢が世界から高く評価され、ノーベル平和賞を受けている。

イ パレスチナ出身のサイドは、その著の中で民主政治が必ずしも正しいとは限らないと説き、特に多数者による判断に危惧を抱き、民衆は時として演説が上手な政治家たちにおおられ、彼らを熱狂的に支持し、国家体制をファシズムに導くと考えた。サイドは特に 20 世紀前半の日本の軍国主義をオリエンタリズムと呼んで全体主義の典型であるとした。

ウ グローバル化する社会では、宗教・文化などが異なる人たちが共に社会を構成している。フランスでは、かつて宗教が政治や教育に介入し社会を混乱させたことを教訓として、ムスリムの女生徒が学校でスカーフを被ることを禁じている。このような考えは多文化共生主義の基本的在り方を示している。

- ① アー正 イー正 ウー誤
- ② アー正 イー誤 ウー正
- ③ アー正 イー誤 ウー誤
- ④ アー誤 イー正 ウー正
- ⑤ アー誤 イー正 ウー誤
- ⑥ アー誤 イー誤 ウー正